

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-03-01

APM news 167

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



長岡造形大学 地域協創演習 in APM

「すずめ隊」2016年度活動報告

履修者:長岡造形大学生23名
指導:御法川哲郎、たかだみつみ

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



今年度も秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) と長岡造形大学 (造形大) との連携授業「地域協創演習 すずめ隊」を行った。昨年度を大きく上回る23名の学生が履修した。地域協創演習とは、地域社会及び企業と、学生・教員が力を合わせた知的価値、地域価値、企業価値を創造することを目標に掲げている造形大独自のカリキュラムだ。APMにおける地域協創演習は、学生チーム「すずめ隊」として、年間を通してAPMの活動をサポートする。APMの活動に参加・実践することで、美術館の本質を学ぶことを目的としている。

今年度の「すずめ隊」は、まず第22回企画展「宮内・摂田屋百景展2」に出品することから始まった。展示までに制作が完了していた3年生5名の作品のみの出品となった。プロの作品と共に自分の作品が美術館に展示されることは貴重な経験となり、そこから得たものも大きかったのではないだろうか。年度末の1月には、4月の展示の際に作品が完成していなかった18名を含め、23名全員の「宮内・摂田屋百景」ポスターを造形大校内にて展示発表した。表現技法にはまだ未熟さはあるが、学生ならではの視点で地域の魅力を見つけ出し、作品に昇華させた。取り上げる場所はバラエティに富み、APMスタッフも知らない新たな発見を提供してくれた。

その他にも例年通り、美術館大学、ワークショップ、日本ブックデザイン賞2016授賞式など、APMの活動を1年を通してサポートした。美術館大学を聴講するだけでなく、社会との関わりの中での実践的な体験の上で、彼らが学び得たものは多いのではないだろうか。今年度は、履修人数が多いこともあり、懇親会などの場で、多摩美術大学生やその卒業生とのコミュニケーションが盛んに行われた印象を受けた。置かれた環境や経験値の違う人と接し、刺激を受けたこの経験が、今後の彼らの表現活動や人生の助力となることを願う。

「すずめ隊」はAPMにとって重要な存在となりつつある。私たちは、入隊した学生は1年限りの関係ではなく、ずっと「すずめ隊」の一員であると考えている。彼らが大学を卒業した後も、APMや隊員同士の関係が繋がり続け、強力なサポートチームになっていくことが理想である。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)

2016年度地域協創演習「すずめ隊」履修者 23名

3年生 阿部匡平、池田陽平、酒井星風、佐藤陽香、佐藤衛、関萌花、福島明、渡部李穂

2年生 小山美紀、齋藤知美、池田茉琳、石月奈央、今井みゆき、大谷真優、大森萌、岡崎芽生、金井憲、椋澤七海、嵯峨雄介、佐藤さき、土田瀬令奈、角田千祐、吉田壮太